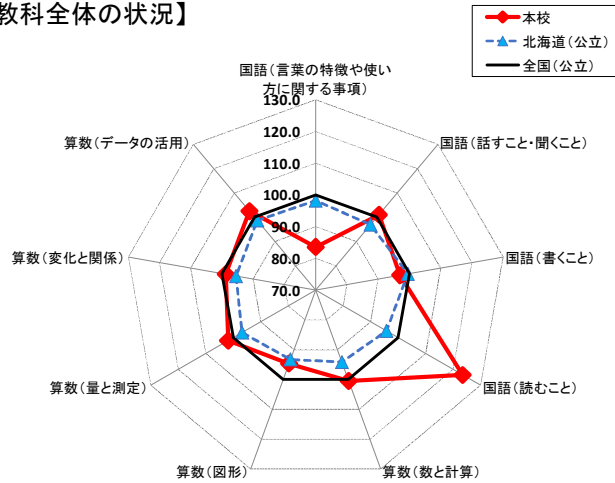


令和3年度全国学力・学習状況調査の結果分析について〔釧路市立朝陽小学校〕

令和3年10月8日

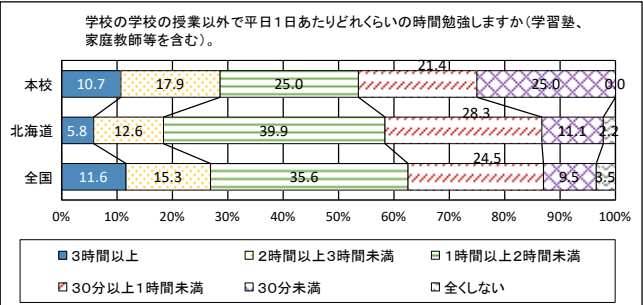
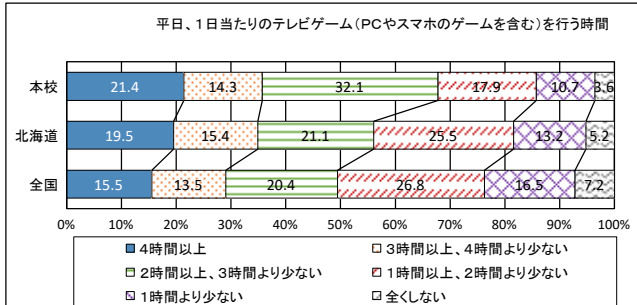
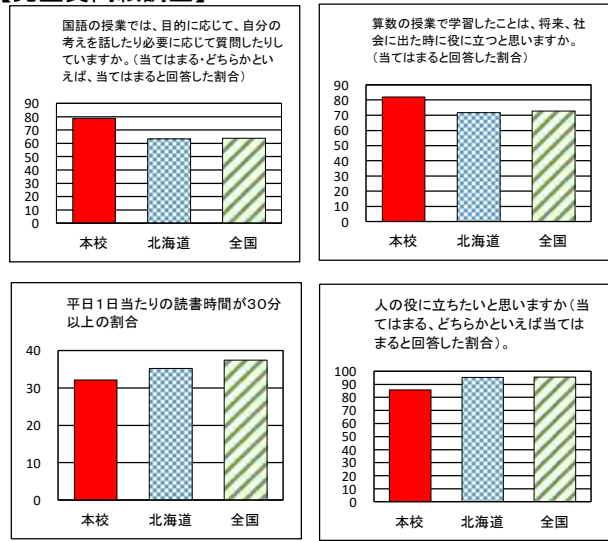
今年度5月27日に実施されました令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果が、過日、文部科学省から公表されたところです。本校においては、届きました結果を分析し、今後の対策や教育活動等の改善について検討してきました。つきましては、その概要と今後の取組の方向性をお知らせいたします。

【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本校の状況をレーダーチャートで示したものの(本校の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【児童質問紙調査】



【分析】

		成果	課題
教科	国語	<ul style="list-style-type: none"> 説明文や物語を読み取り、問題を解く力がとても高い。 自分の考え話したり、書いたりして効果的に伝える力は全国とほぼ同レベルである。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を書いたり、文脈に即して適切な漢字を選んだりすることを苦手としている児童が多く、正答率でも大きく全国平均を下回っている。 正答率が高い児童と低い児童の二極化が見られる(中間が少ない)
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 4つの分野で、全国平均を上回っているか同程度の正答率であり、学力の向上は確実に進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図形」分野の正答率のみ全国平均を下回っていて、苦手としている児童が多いことがわかる。
児童質問紙		<ul style="list-style-type: none"> 「国語と算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。 「各教科で学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出している」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。 「学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「平日の1時間当たりの学習時間が30分未満と回答している児童が多い。 「人の役に立つ人間になりたい」と回答している割合が、全道・全国に比べてやや低めである。 平日の1日当たりの読書時間が少ない。 平日2時間以上テレビゲーム(PCやスマホのゲームを含む)をしていると回答している児童が多い。

【今後の本校の取組】

- ◎ 国語の授業は、「読むこと」「話すこと・聞くこと」など、ほとんどの分野で成果が現れています。このことを踏まえ単に教科書の教材をこなすだけでなく、読み取ったことをもとにグループで討議したり、交流したりする学習や、調べたことや考えたことをタブレットなどを活用して表現したり、発信したりする学習を今後も進めていきます。
- ◎ 弱点である漢字の読み書きは、日々の国語の学習時間の中で取り立てて行っていくことが難しいのが現状です。そのため、現在は朝学習や宿題でのプリントを工夫することで習熟を目指しています。また、それに加えて、宿題で出題された漢字を家庭学習で復習することで効果的に漢字を覚えていく児童も多くなります。ただ、このような漢字の学習方法は、家庭での学習習慣がしっかりできていることが前提となります。漢字の正答率が低い児童の場合は、早急に宿題・家庭学習に取り組む必要があります。

【家庭にお願いしたいこと】

- ◎ 家庭学習の時間の目安は「学年×10分」となっております。宿題を含めての時間となっておりますので、児童の実態に応じて家庭学習に取り組めるよう声かけをお願いします。
- ◎ 各ご家庭においては、家庭学習中はテレビを消す、スマホを預かるなど、子どもが学習に集中できる環境づくりをお願いします。
- ◎ 1日のテレビゲームを行う時間や携帯電話・スマートフォンの利用時間は、2時間以内とし、夜9時以降は機器を保護者に預けるようにお願いします。
- ◎ ゲームや携帯電話の使用に関しては、各ご家庭でフィルタリングをかけたり、子どもと話し合ってルールを決めて利用するようにしてください。